

きのと小だより

燦

合言葉：みんなで力を合わせて、子どもの方をしっかりと向いて、
大事に大事に育てましょう。 平成27年6月1日 4号

子どもの方をしっかりと向いて

校長 金子 智

運動会、本当に大勢の皆様からご声援をいただきました。ありがとうございました。心から御礼申し上げます。大きな学校行事、「運動会」を終え子どもたちがひとまわり大きくなりました。

○ 運動会の代休開けの日、職員室の入り口近くに置いてあるコンピュータで仕事をしていました。

「失礼します。」

の声に顔を向けると6年生の男の子が2人、並んで立っていました。

「校長先生、休み時間にグラウンドの端の方で、プラスチックのバットとゴムのボールで野球をしてもいいでしょうか。」

と許可を求めました。学校の細々としたルールまでは把握していなかったので、

「私は学校の細々としたルールがわからないから、聞いて明日までにハッキリさせておきます。」

と答えました。2人は「お願いします。」と丁寧に頭を下げて職員室を後にしました。

「グラウンドの端の方で、プラスチックのバットとゴムのボールを使って」と言うのですから、それであれば安全は確保されるという2人の判断があったことが分かりました。

自分で考えて、それならば許可してもらえるのではないかと判断して許可を得ようとしたのでした。そのことを嬉しく思いました。

安全が確保されるのであれば子どもの運動体験を広げることはよいことです。しかし、そうすることによって今予測はできないけれど、なにか問

題が生じないとは言い切れません。それで生徒指導部と体育部に声をかけて一緒に考えました。

○ 「確かに運動体験を広げるのはいいことです。むしろ目指す方向です。」

「きのと小学校はグラウンドも広いし、プラスチックバットとゴムボールであれば安全は確保されると思います。その点は大丈夫だと思います。」

「しかし、どのプラスチックバットとゴムボールを使うかです。授業で使う教材備品であれば、遊ばせてあげたいのは山々ですが、自由に遊びに使ってもいいというわけにはいきません。」

「もしかすると子どもたちが言っているプラスチックバットというのは児童玄関にあったあの黒いバットのことかも知れません。その近くには確かにゴムボールもありましたから。」

「それで、野球をしたいと思ったのかも知れませんね。何とか遊ばせてやりたいですね。」

それから話は進みバットとボールを学校で用意することにしました。そして子どもたちが安心して安全に野球できるように、配慮し指導することを生徒指導部と体育部で話し合っ決めてすることにしました。休み時間、子どもたちは野球も楽しめることになりました。

「子どもの方をしっかりと向いて」がまたひとつ実現しました。しかも、子どもの発想を得ての出来事です。なんと嬉しいことでしょう。

強い陽射しに 木々の葉がきらきら光ります。